

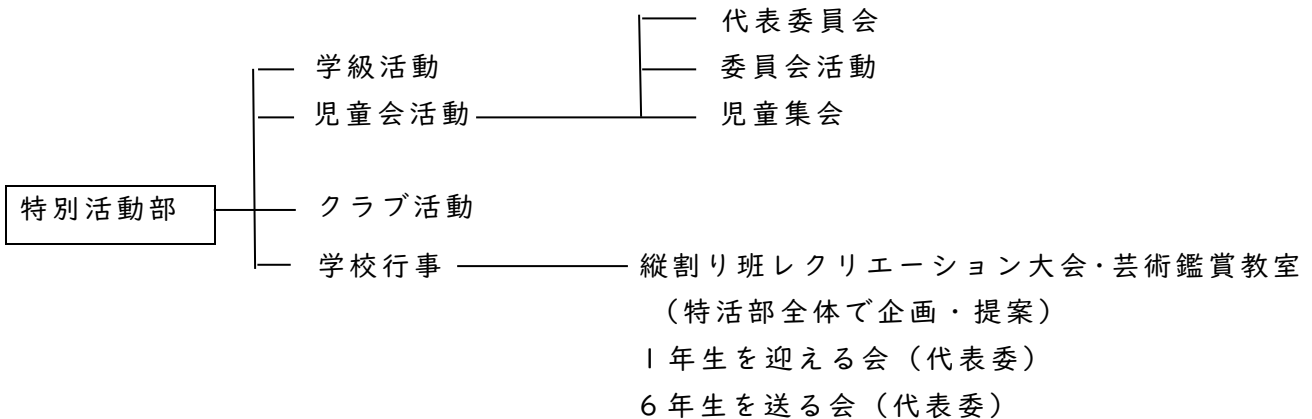
令和8年度 特別活動指導計画

特別活動部

○特別活動の重点目標

- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

○特別活動部校務分掌



○学級活動指導計画

1 ねらい

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、話し合い、合意形成し活動する。役割を分担して協力して実践したりすることや、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、上記の重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

2 活動内容

ねらいに掲げた資質・能力を育成するため、全ての学年において次の各活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

(1)学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

学級生活の充実や向上のため、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

児童会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 基本的な生活習慣の形成

身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。

イ よりよい人間関係の形成

学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活すること。

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとすること。

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館の活用

学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。

3 年間時数

(1) 6年生を送る会・・・準備時数合計2時間

(2) 学級指導・・・合計3時間

保健指導・・・2時間 ※学年によって多少の違いはある。

給食指導・・・2時間

安全指導・・・3時間

(3) 学級会(話し合い活動)・・・22時間(1年は21時間)

※学級会の時数が足りない場合は、1～5年は余剰時間のなかで行う。

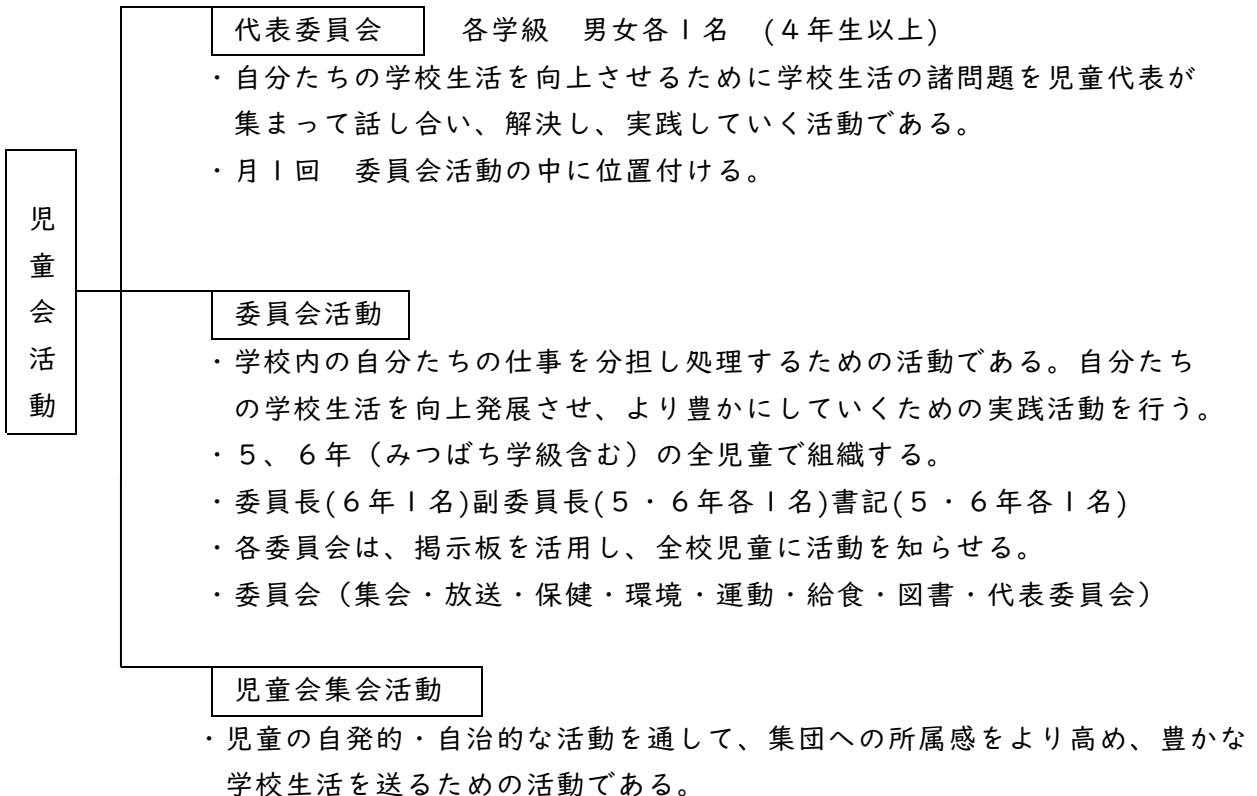
6年は、余剰時間が少ないので、十分計画を練っておく。(たてわり班遊びの話し合い等)

○児童会活動計画

1 ねらい

異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

2 活動内容



※集会委員会集会

- ・月1回程度 水曜日朝に実施する。
(他の委員会・クラブの発表の機会を確保するために2カ月に1回の場合もある。)
- ・集会委員会が計画運営にあたる。

※代表委員会集会

- ・学期に1回程度
- ・代表委員会が計画運営にあたる。

※委員会紹介集会・クラブ発表集会

- ・活動報告を発表形式で行う場合の集会。
- ・各委員会、クラブが計画運営にあたる。

○クラブ活動

1 ねらい

異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

2 内容

(1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営

児童が活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営に当たること。

(2) クラブを楽しむ活動

異なる学年の児童と協力し、創意工夫を生かしながら共通の興味・関心を追求すること。

(3) クラブの成果の発表

活動の成果について、クラブの成員の発意・発想を生かし、協力して全校の児童や地域の人々に発表すること。

3 組織と運営

(1) クラブの設置

- ・児童の希望、教師数、学校の施設・設備などの諸条件を考慮した上で、決定する。
- ・タブレット研究、バドミントン、校庭スポーツ、屋内スポーツ、科学、音楽、イラスト・工作、ダンス、昔遊びボードゲーム、手芸（新）

(2) クラブへの所属

- ・4、5、6年の全児童が所属し、教科の学習の延長や補助的な活動が予想されるものは避ける。
- ・1年間は同じクラブに所属する。
- ・クラブ長1名、副クラブ長1名、書記2名

(3) 指導者

- ・原則として、全教師があたる。(除 校長・副校長・養護教諭)

(4) 活動時間

- ・委員会活動のない日の火曜日の第6校時
- ・年間予定時数 10時間

4 指導上の留意点

- ・児童の興味・関心を最大限に生かし、個性に応じた指導を行う。
- ・活動の経費は年度当初予算をたてる。最終的に個人が所有する物は個人負担とする。個人活動のみに終わることなく、同好の異年齢集団を重視して指導する。
- ・活動記録をクラブの記録簿に記入し、毎時間出席を確認すること。

・活動場所への移動

*文化系クラブ…活動場所にランドセルを持っていき、活動場所から下校する。

*体育系クラブ…教室で着替える。(昼休み)

衣服、ランドセルは教室に置く。

*クラブ活動終了後、担任は教室を中心に見回り、下校状況を確認する。

5 クラブ希望調査

○希望調査を行う時の基本方針

- ・新クラブ調査（今年度は forms にて）を新 5・6 年対象に旧年度の 1 月中に実施し、発足を検討する。新クラブは 4～6 年生（みつばちも含む）が希望する。
- ・児童に、クラブ活動とはどういうものかについて、担任が具体的に話をする。
- ・1 年間を通して、児童が主体的に活動できるクラブを選ぶように指導する。

○以下の様な手順で決定する。

1 月下旬 新 5・6 年を対象に新クラブ調査を実施し、発足を検討する。

2 月中旬 クラブ見学後に新 6 年生にクラブ希望調査（第 1 希望・第 2 希望・第 3 希望を記入）を配付・記入させ、回収後振り分けを特活部教員が行う。

※希望が集中しすぎた場合、新 6 年生が話し合いをして人数の調整を行う。

※新 6 年生の人数により、新 4・5 年生の定員を決める。（クラブ活動担当）

3 月上旬 新 4・5 年生クラブ希望調査（第 1 希望・第 2 希望・第 3 希望を記入）を配付・記入させ、回収後振り分けを特活部担当教員と旧担任が行う。

※希望が集中しすぎた場合は、人数の調整を行う。（クラブ活動担当）

4 月下旬 名簿、振り返りカードなどを準備する。

各クラスで決定クラブを発表する。

6 クラブ決定までの流れ

○クラブパンフレットの作成

月 日（ ）各クラブ担当が活動内容を記入し、クラブ担当がパンフレットを作成。

月 日（ ）クラブ希望調査時に各クラスに希望調査票と共にパンフレットも配布。

○新クラブ発足調査

月 日（ ）新 5・6 年を対象に新クラブ調査を実施し、発足を検討。

○クラブ見学 月 日（ ） 予備日 月 日（ ）

クラブ見学実施後、希望調査を行う。

○クラブ希望調査（新 4～6 年） 月 日（ ） → クラブの種類決定

○新 6 年 クラブ調査 月 日（ ）

○新 6 年 クラブ決定 月 日（ ） → 新 4 年・新 5 年のクラブの人数割
決定後は、クラブファイルを作成する。